

ZENKAIUN NEWS

第67回通常総会、臨時理事会、及び懇親パーティ 開催報告

2025年6月19日（木）、東京都千代田区内において第67回通常総会、臨時理事会、及び懇親パーティを開催いたしました。

◆ 第67回通常総会・議題 ◆

- 第1号議案 令和6年度事業報告書及び収支決算書・財産目録・貸借対照表承認の件
- 第2号議案 令和7年度事業計画承認の件
- 第3号議案 令和7年度徴収賦課金分担並びに収支予算承認の件
- 第4号議案 定款変更の件
- 第5号議案 役員全員任期満了による改選の件
- 第6号議案 令和7年度議決権調書

満場一致で全て承認。



← 退任理事を代表し
寺岡副会長よりご挨拶
いただきました。



議長
村田副会長 →



通常総会中の様子

◆ 臨時理事会・議題 ◆

- 議題1 会長、副会長及び専務理事選出について
- 議題2 委員会委員選出について
- 議題3 委員会担当副会長委嘱について
- 議題4 理事指定代理人届出について

満場一致で全て承認。

議題1で承認されました
会長、副会長及び専務理事については
次頁でご紹介いたします！

懇親パーティ

九海連の宗田前副会長よりご挨拶と乾杯のご発声をいただき、和やかに開幕しました。終始、各テーブルでは穏やかな雰囲気のもと、親睦を深めました。

中締めは、新任理事の中からのくじ引きで、和歌山の小林理事に決定。今後への抱負を込めた力強い一本締めで締めくくり、閉会となりました。



九海連 宗田・前副会長 ↑



懇親パーティ中の様子



和歌山 小林・新理事 ↑

新役員紹介



■写真下段■

中 央
向かって左
向かって右

会 長 藏 本 由紀夫
副会長 岡 本 信 也
副会長 荒 川 和 音

(中国地方海運組合連合会)
(中国地方海運組合連合会)
(大阪海運組合)

■写真上段■

向かって左
中 央
向かって右

副会長 村 田 泰
副会長 木 許 直 樹
専務理事 高 橋 徹

(四国地方海運組合連合会)
(九州地方海運組合連合会)
(全国海運組合連合会)



藏本会長より再任ご挨拶

令和7年6月20日
全国海運組合連合会
会長 藏本由紀夫

第67回通常総会が、皆様のご協力により滞りなく終える事ができました事に改めて感謝申し上げます。また、改選期にあたり4期目の再任を迎えるにあたり、益々の重責を感じているところでございます。

さて、昨年度を振り返りますと、コロナ禍後の需要回復や、円安を背景としたインバウンド需要の影響を受け、日経の平均株価は史上最高値を更新するなど、個人消費は緩やかな回復傾向にあるものの、長引くウクライナ情勢や中東地域における紛争を背景に、輸入物価の上昇・エネルギー価格の変動に加え、少子高齢化による労働力不足といった構造的な課題が日本経済や国民生活に深刻な影響を与えています。

このような中、内航業界では已然と船員の高齢化や老齢船の比率が高く、適正な運賃・傭船料改善の遅れをはじめ、船価高騰や働き方改革に伴う船員不足が影響し、代替建造も思うように進まない状況が続いています。

昨年度、国交省では「海技人材の確保のあり方に関する検討会」や「海技教育機構の中期的あり方検討会」を設置し、現状の課題に対する方向性を議論しました。今年度から具体的な活動に向け取り組んでいくことになると思いますが、それらの成果が早く表われるよう、我々も国の政策の下で尽力しなければなりません。

6級海技士養成の受講生は、奨学金制度創設以降大幅に増加しており、今年度は更に目標の200名に達成する勢いをみせています。また、定着率向上を実現すべき新人船員・既存船員用、更に大型船・小型船別の船員教育・訓練マニュアルの作成にも取り組んでいるところです。

当連合会におきましても、一昨年は大幅なコスト削減と組織体制の見直しを行い、昨年は「外国人船員に係る勉強会」を設置し、現状の課題に向き合った議論を行って参りました。

事業者におけるこれらの各課題に対応する為、当連合会は組織を挙げてサポートしていくと同時に、関係機関・団体・関係者と連携しながら今後も積極的に取り組んで参りますので、引き続きのご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

**本内容は、全海運HPの「全海運について」
において掲載しております。**